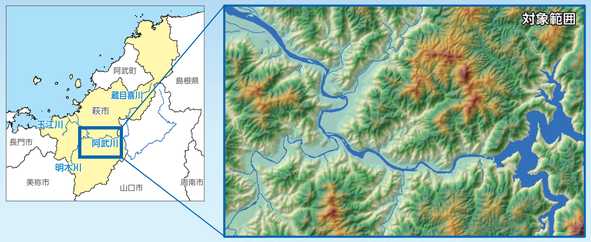
萩市

平成31年
3月

河川洪水ハザードマップ

阿武川（川上）



この図は国土地理院の基盤地図情報（数値標高モデル）を加工したものです。

河川洪水ハザードマップについて

水防法の改訂に伴い「想定最大規模の降雨を想定した浸水想定区域図」などが新たに指定・公表されたことを受け「萩市河川洪水ハザードマップ」を改訂しました。

このハザードマップでは萩市で想定される大雨によって引き起こされる災害を知っていただき、対策を考え、もしものときに少しでも被害を軽減することを目的に作成しています。

このハザードマップには、阿武川（川上）が氾濫した場合の範囲とその水深を示し、避難場所や避難の際の危険箇所などを表示しています。

● 利用にあたって注意して頂きたいこと ●

浸水想定区域は、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫などを考慮していないため、浸水想定区域外への浸水や、実際の浸水が想定される浸水深よりも深くなる場合があります。

実際の水害時には、状況に応じて避難情報が出されますが、危険を感じた場合は細心の注意をはらい、早めに自主避難を開始してください。

● 連絡先

萩市役所 総務部 防災危機管理課	川上総合事務所
TEL：0838−25−3808 FAX：0838−21−3501 E-Mail：bousai@city.hagi.lg.jp	TEL：0838−54−2121（代） FAX：0838−54−2430

大雨によって引き起こされる災害

大雨が降り続くと水害や土砂災害が発生します。水害や土砂災害にも種類があるので、理解しておきましょう。あなたの家の周りでどの災害が発生するのか、ハザードマップで確認しましょう。

内水氾濫

大雨により、下水道や水路からの排水ができなくなり、水があふれ出す現象

外水氾濫

大雨によって河川の水量が増え、堤防から水があふれたり、堤防が決壊するなどにより水が流れ出す現象

大雨が降り続くと・・・

道路の冠水

エンジンが停止したり、ドアが開かないなど、車内から出られないことがあります。

床下浸水・床上浸水

流れこんでくる水は泥水であり、水が引いた後も土砂や汚泥が堆積するため、片付けが大変です。

家屋の倒壊

河川沿いでは、家屋が倒壊し、命の危険性もあります。

土砂災害

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

急な斜面が突然崩れ落ちる現象

土石流

山から崩れてきた土や岩が、水と一緒になって谷を流れてくる現象

地すべり

傾きの緩い斜面が広い範囲にわたって滑り落ちていく現象

急傾斜地の崩壊の前兆現象

土石流の前兆現象

地すべりの前兆現象

避難の種類と行動

避難行動には「立ち退き避難」、「屋内安全確保」、「垂直避難」があります。

避難行動には、避難場所などへ避難する「立ち退き避難」、自宅など建物内の安全な場所で退避する「屋内安全確保」や逃げ遅れた場合に 2 階以上または危険のない近くの高い建物へ避難する「垂直避難」があります。

○災害の危機にさらされる場合には「立ち退き避難」

○想定される被害が自宅の2階以上の高い所などで退避できる場合には「屋内安全確保」

○逃げ遅れたら「垂直避難」

災害時には早めの避難が重要です。ただし、立ち退き避難の必要がある場合でも、避難が遅れすでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。近隣の高い建物や自宅の 2 階以上の高い所へ垂直避難するという判断も必要です。

そのような場合は、命を守る最低限の行動をとりましょう。

避難時の心得

避難する前に

火の元（コンロ、暖房器具、タバコ、線香等）と戸締りを確認、電気はブレーカーを落として、親類や知人などに避難することを連絡しておきましょう。

地域での助け合い

行動は 2 人以上で家族や近所の人たちと一緒に行動しましょう。
お年寄りや身体の不自由な人などの手助けをしましょう。

避難時の注意点

長靴は脱げる危険があります。運動靴で避難しましょう。

浸水すると人はまともに歩けなくなります。ひざ下に水がくる前に避難しましょう。

自動車は約 30cm の浸水深で走行困難になります。
自動車はもちろん自転車も厳禁！

マンホールや排水溝に吸い込まれる危険があります。

連絡先

わが家の防災メモ

●わが家の避難場所

●いざというときの連絡先

消防 119　警察 110

●わが家の連絡先

家族の名前	会社・学校の連絡先	携帯電話	メールアドレス

安否確認方法

災害用伝言ダイヤル(171)　災害用伝言ダイヤル(171)は、災害時にNTTより提供される「声の伝言板」です。

使用方法を知っておきましょう。（※サービス開始は、テレビ･ラジオなどで通知されます）

録音の伝言	171 ▸ 1 ▸	被災した家の電話番号	▸	伝言を入れる（30秒以内）		ガイダンス（説明）がながれます。被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュする。
再生の伝言	171 ▸ 2 ▸	被災した家の電話番号	▸	伝言を聞く		ガイダンス（説明）がながれます。被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュする。

※携帯電話でも、「災害用伝言板」が利用できます。使い方をあらかじめ確認しておきましょう。
※災害時、緊急でない電話はなるべく控えましょう。　※毎月1日、15日に体験利用ができます。1度体験してみましょう。

災害用伝言板(web171)　災害用伝言板(web171)は、インターネットでできる災害用伝言板です。

自分の安否情報を登録することができ、インターネットなどを通じて、登録された安否情報を家族や友人などが確認できる災害時専用のサービスです。

また、あらかじめ指定した家族や友人に対して、災害用伝言板に登録したことをメールでお知らせすることも可能です。

災害用伝言板
(web171)
https://www.web171.jp

地域での防災活動

自主防災組織に参加しましょう

自主防災組織とは、「自分たちのまちは自分たちで守る」という、地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて結成される防災組織のことです。お住まいの地域に自主防災組織があれば、積極的に活動に参加し、地域で防災訓練等の防災活動に取り組みましょう。

自主防災組織の活動例

平常時	災害時
■ 防災知識の普及啓発活動 ■ 各家庭の安全確保 ■ 地域内の防災環境の確認 ■ 防災訓練の実施 ■ 防災機材の点検整備	■ 情報収集伝達活動 ■ 初期消火活動 ■ 避難誘導活動 ■ 救出救護活動 ■ 給食給水活動

出前講座

萩市では、近年頻発する災害等に迅速に対応するため、防災の専門知識・経験を持った地域防災マネージャーを平成29年から設置しました。

地域の防災力アップを目標とした、防災出前講座に地域防災マネージャーが伺います。防災・減災や災害リスクについて地域防災マネージャーが詳しく解説します。出前講座の開催をご希望の場合は、防災危機管理課へお問い合わせください。

お問い合わせ　防災危機管理課　0838-25-3808

情報の種類と行動の目安

雨の降り方	周囲の状況 災害発生の目安	気象情報	河川水位情報	土砂災害情報	避難情報	市民の皆様のとるべき行動
強い雨 1時間雨量 20～30mm未満	地面一面に水たまりができる。	大雨・洪水注意報 災害が発生するおそれがある場合	氾濫注意水位 氾濫の発生を注意する水位		避難準備・高齢者等避難開始 避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される場合	● 最新の気象情報などを入手。 ● 避難場所の位置を確認。 ● 萩市防災メールの情報を確認。
激しい雨 1時間雨量 30～50mm未満	道路が川のようになる。	大雨・洪水警報 重大な災害が発生するおそれがある場合		土砂災害警戒情報 土砂災害の危険性が高まった場合に発表 雨の降り方や土砂災害の前兆現象にも注意		● 非常持出品の準備等避難準備を開始。 ● 要配慮者とその支援者は速やかに避難。 ● 突発性が高く予測が困難な土砂災害の危険性がある区域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いでは、避難準備が整い次第、速やかに指定緊急避難場所へ避難。
非常に激しい雨 1時間雨量 50～80mm未満	水しぶきであたり一面が白っぽくなる。				避難勧告 災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合	● 予想される災害に対応した指定緊急避難場所へ速やかに避難。 ● 指定緊急避難場所への立ち退き避難はかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合には、「近隣の安全な場所」※1への避難や、「屋内安全確保」※2を行う。
猛烈な雨 1時間雨量 80mm以上 危険大	大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。	記録的短時間大雨情報 数年に一度の猛烈な雨が降った時に発表	氾濫危険水位 住民の避難判断の目安の参考となる水位		避難指示（緊急） 災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合	● 既に災害が発生していてもおかしくない極めて危険な状況となっており、未だ避難していない人は、予想される災害に対応した指定緊急避難場所へ緊急に避難。 ● 指定緊急避難場所への立ち退き避難はかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合には、「近隣の安全な場所」※1への避難や、「屋内安全確保」※2を行う。

特別警報　経験したことのないような大雨や暴風などが予想される時に発表　→　**直ちに命を守る行動をとる**

※1　近隣の安全な場所：指定緊急避難場所ではないが近隣のより安全な場所・建物等
※2　屋内安全確保：その時点に居る建物内において、より安全な部屋等への移動

早期立ち退き避難が必要な区域及び浸水ランク別の避難行動

区域		避難行動	注釈
早期立ち退き避難が必要な区域	家屋倒壊等氾濫想定区域	家屋が倒壊するような氾濫流や河岸侵食が発生するおそれがあることから、早期立ち退き避難が必要。	ただし、氾濫がすでに開始している場合など、指定緊急避難場所への立ち退き避難はかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合には、近隣の安全な場所への避難や、屋内安全確保を行なう。
	家屋が浸水するおそれのある区域	最上階も浸水するおそれがあることから、早期立ち退き避難が必要。	
その他の浸水想定区域		床上浸水または床下浸水が想定されることから、立ち退き避難が望ましいが浸水時に想定される状況を踏まえ、自らの判断により屋内安全確保も必要。	
浸水想定区域外			浸水想定区域内の住民等が避難してくることも考えられるため、避難の手助けを行う。

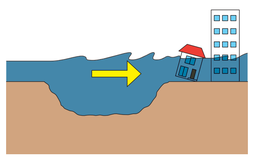
裏面のハザードマップを見て自宅の想定される浸水の深さを確認し状況に応じた避難を考えましょう。

家屋倒壊等氾濫想定区域

…氾濫流によるものと河岸侵食によるものがあります。

氾濫流

河川堤防の決壊又は洪水氾濫流により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域



河岸侵食

洪水時の河岸侵食により、木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域

防災情報

伝達方法

気 気象情報	雨量情報等を参考に気象庁が発表
川 河川水位情報	山口県の水位観測所で観測された情報
土 土砂災害情報	雨量情報等を参考に気象庁と山口県が発表
避 避難情報	各種情報から萩市が発令

→ 災害情報等 / 避難情報等 →

報道機関等
テレビ（萩ケーブルTV 等）
ラジオ（エフエム萩等）

萩市防災メール
エリアメール
スピーキャン・ライデン

防災行政無線
屋外スピーカー等

町内会や自主防災組織の伝達方法

→ 気 川 土 避 →

住民等

入手方法

情報収集

① 防災行政無線等
② テレビ・ラジオ
③ 町内会や自主防災組織の情報伝達体制
④ 萩ケーブルネットワークの地域情報チャンネル
⑤ 萩市防災メール
⑥ エフエム萩
⑦ インターネット
⑧ スマートフォン・タブレット・携帯電話

※テレビやインターネットは停電により使用できない場合があります。
※ラジオや防災行政無線は、定期的な点検や予備電池の準備が重要です。

萩市防災メール

萩市防災メールに登録しましょう。
携帯電話やパソコンに24時間、防災、気象、地震、津波、火災情報を電子メールでお知らせします。（緊急地震速報は配信しません）

登録方法

「hagi@xpressmail.jp」に電子メールを送信すると、登録・変更メールが届きます。
本文中のURLにアクセスして、必要事項を選択して登録して下さい。

配信情報確認用電話番号　050-5865-1562（最新のメール情報が音声で確認できます）

※登録メールが届かない場合は xpressmail.jp&lg.jpのドメインから送信されるURL付きメールが受信できるように設定してください。設定方法は、取扱説明書や携帯電話販売店で確認して下さい。

登録用QRコード　解除用QRコード

防災情報が収集できるホームページ

検索ワード

1	萩市ホームページ トップページに「防災情報」欄あり	
2	山口県防災危機管理課 3～6 のリンクあり	
3	山口県防災ポータルサイト「防災やまぐち」 気象情報・注意報、避難・被害情報	
4	山口県土木防災情報システム 水位・潮位・降雨情報	
5	山口県土砂災害ポータル 土砂災害の危険箇所や警戒情報	
6	下関地方気象台 気象情報・土砂災害警戒情報	
7	国土交通省「川の防災情報」 河川の水位	
8	山口県河川課 津波災害警戒区域・浸水想定区域情報	

SpeeCAN RAIDEN（スピーキャン・ライデン）

SpeeCAN　RAIDEN（スピーキャン・ライデン）とは、視覚・聴覚に障がいのある方、高齢者または町内会長、自主防災組織の長のご自宅へ固定電話やFAXで、避難勧告等の各種防災情報を配信するサービスです。

登録方法

防災危機管理課または各総合事務所地域振興部門、支所、出張所へご連絡ください。

備え

非常持出品や非常備蓄品の準備

非常持出品

食 料
- □ 飲料水
- □ 非常食（火を通さず食べられるもの）
- □ 粉ミルク等、哺乳瓶（赤ちゃんがいる場合）

衣類など
- □ 衣類（厚手のものと薄いもの）
- □ 下着類
- □ タオル
- □ 手袋、軍手
- □ 雨具

救急･安全対策用品
- □ 持病薬
- □ 常備薬（胃腸薬、風邪薬）
- □ 傷薬、消毒液
- □ 包帯、ガーゼ、絆創膏
- □ 地図（ハザードマップ）
- □ 歯磨きセット

日用品
- □ ポリ袋（ビニール袋）
- □ 万能ナイフ
- □ ティッシュ、濡れティッシュ
- □ 懐中電灯
- □ 携帯ラジオ

貴重品
- □ 現金（小銭）
- □ 預金通帳、印鑑
- □ クレジットカード
- □ 健康保険証
- □ 免許証など

- □ 携帯電話
- □ 電池、充電器
- □ 筆記用具（油性マジック）
- □ 使い捨てカイロ
- □ 簡易食器（割り箸、紙皿）
- □ 携帯トイレ
- □ 紙おむつ
- □ 生理用品
- □ メガネ
- □ マスク

必要なものを持てるだけ両手があくようにリュックなどに入れて用意しましょう。

非常備蓄品（最低3日、推奨1週間）
- □ **日頃の買い置き**
  保存性のよい食料や水を買い置きし、消費したら買い足す（ローリングストック法）
- □ **3日分以上の食料**
  缶詰、レトルト食品、栄養補助食品、お菓子、調味料、スープなど
- □ **飲料水**
  大人1人当たり1日 2～3リットル
- □ **カセットコンロ･ガスボンベなど**
- □ **缶切り**　□ **ラップ**

ローリングストック法

風水害への備え

家の周りを確認しましょう

日頃から、台風や大雨時に備え、家の周りの点検や掃除をしておきましょう。

- □ 屋根の瓦のひび･割れ･はがれはないか。
- □ 窓枠や雨戸にがたつきはないか。
- □ 壁に亀裂はないか。
- □ 雨どいに落ち葉などが詰まっていないか。
- □ 排水溝にごみや土砂が詰まっていないか。
- □ ごみ箱や植木鉢などは室内に入れるか飛ばされないように固定しているか。

家屋の浸水を軽減しましょう

ご家庭にある物を利用し、家屋への浸水を防ぎましょう。
玄関などの出入口や、床下への浸水防止の対策を行いましょう。

ごみ袋による簡易水のう

ごみ袋を二重にし半分程度まで入れてダンボール箱に入れ連結します。

ポリタンクとレジャーシート

ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み連結します。

プランターとレジャーシート

土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み使用します。

止水板

出入口は長めの板などを使用し、浸水を防ぎます。

風呂の貯水

下水の逆流防止、生活用水としての利用などの利点があります。

トイレや洗濯機などの排水溝

水をいれたビニール袋をおいておくと排水溝から逆流してくる汚水を防げます。